

平成28年第2回田原市教育委員会定例会会議録

1 開会 平成28年2月17日 午前10時30分

2 閉会 平成28年2月17日 午後0時00分

3 会議に出席した委員

花井 隆教育長、横田 威委員、金原真人委員
山本明子委員、土井真紀江委員

4 会議に欠席した委員

なし

5 会議に出席した職員

教育部長

前田和宏

教育総務課長

鈴木 努

学校教育課長

鈴木欽也

文化生涯学習課長

鈴木洋充

スポーツ課長

大羽耕一

教育企画室長

三竹雅雄

図書館主幹

菅沼智子

教育企画室主任

清水綾子

6 議事日程

別紙のとおり

田原市教育委員会第2回定例会議事日程

日 時 平成28年2月17日(水)
午前10時30分
場 所 北庁舎2階 200会議室

1 会議録署名者の指名

2 教育長報告事項

3 議題

- (1) 市議会提出案件(田原市博物館条例の一部を改正する条例)に対する意見について
- (2) 市議会提出案件(田原市吉胡貝塚史跡公園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例)に対する意見について
- (3) 市議会提出案件(田原市市民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例)に対する意見について
- (4) 市議会提出案件(財産の無償譲渡)に対する意見について
- (5) 平成27年度一般会計教育費補正予算について
- (6) 平成28年度一般会計教育費予算について

4 報告事項

- (1) 教育委員連絡報告事項
- (2) 委員長教育方針(案)について
- (3) 田原市総合教育大綱について
- (4) 学校再編について

5 その他

教育長

開 会 午前10時30分

ただいまの出席者は、5名であります。

定足数に達していますので、平成28年田原市教育委員会第2回定例会は成立いたしました。

これより開会いたします。

それでは、会議規則第13条第2項の規定により、会議録署名者の指名をさせていただきます。

今回の署名者として、横田委員と土井委員の御兩名を指名させていただきますので、よろしく願いいたします。

では、議題に先立ち教育長報告をお願いします。

1月21日の定例会教育委員会以降について報告いたします。

1月22日、第1回の博物館協議会が渥美郷土資料館で行われました。

その後、渥美地域総代会連絡協議会があり、今後の学校再編も含めた教育について状況を説明させていただきました。渥美地域の地区総代と自治会長がおりました。

1月23日、24日、教育長セミナーが茨城県つくば市でありました。

1月27日、学校給食週間の招待給食ということで大草小学校へ出かけまして、市長、議長、JA愛知みなみの組合長、私、鈴木欽也学校教育課長の5名が教室で給食をいただきました。

1月30日、委員の皆さんにも参加いただきました小学校音楽会が終日開催されました。金管はもちろん、木楽も頑張っていたところが印象に残っています。

2月に入りまして校長の二次面談を行いました。

2月4日、委員長・教育長会議、その後東三河教育委員研修会ではジオパークのお話をいただきました。

2月5日、長田拓也選手が市長訪問ということで、長田選手は野田中学校の卒業生で、豊川高校、現在は法政大学3年生で、本年度のインカレ、100メートルチャンピオンで10秒19、200メートルが20秒57でユニバシアード、世界陸上の400メートルリレーの選手ということで今回、リオオリンピックを目指しているということです。私は会えませんが、期待は高まっています。

2月7日、第24回田原健康ふれあいジョギング大会が白谷でありました。小中学生、特に中学生がたくさん出ていました。去年は雪、雨が降って大変だったけど、ことしは風だけだったというようでした。

それからスポーツ課で田原市キンボールスポーツ大会があり、名古屋フィルハーモニーのワークショップということで、名フィルのトランペット、トロンボーンなど6パートに分かれて10人近くの子どもたちが直接教えてもらうというワークショップです。

そのうちの各6パートの優秀者が2月11日の椰子の実ファミリーコンサートに参加しました。渥美半島でクラシックコンサートはなかなか

か企画できないのですが、椰子の実ファミリーコンサートでは、530人の参加をいただきました。

2月8日には野田中学校の統合準備委員会、2月10日は、私も初めて参加しました市町村教育委員会教育長研修会ということで、名古屋で特に県予算の説明がありました。その中で、県立高校の中高一貫教育についても県の教育部長さんから「よろしくお願いします」というごあいさつをいただきましたが、中身については多くのことはまだこれから決めていきます。

2月16日、地域コミュニティ定例理事会があつて、本日2月17日、総合教育会議、定例教育委員会、ありがとうございました。

本日の夜は、伊良湖岬中学校統合検討委員会に出席します。

今後の予定としては、2月18日、三河部都市教育長協議会、2月20日、渥美半島花の超祭典が二日間、伊良湖休暇村で行われます。

2月22日、泉中学校再編検討委員会、2月23日、校長会・研修会、2月29日から田原市議会が始まります。

高校が3月1日、中学校が3月4日に卒業式があります。駆け足でまた2月の後半が進んでいくというように思います。

そのほかとして、県立高校教育推進実施計画で、5年間、2016年から2020年の発表の中で、福江高校で連携型中高一貫教育を検討していくと。そのあたり観光ビジネスコースの新設も検討していくということで、地域の福江高校、これ改築も進んでいますので、何とか福江高校の盛り上げを期待したいと、教育委員会としてもかかわりながら、いい高校教育ができるように願っているところです。

本日、高校の推薦入試が県立高校で行われておりまして、春への準備が進んでいるかなと思います。

インフルエンザが本市でも流行しております。市内全体で6学級が学級閉鎖となっており、全国的な勢いなのですが、本市でも蔓延しております。

それから、先ほどの総合教育会議でお話させていただきましたけれども、泉中の平井さんの作文がきのうの東愛知新聞に載っていました。非常に地域のよさを表現している本人の体験文で、道徳的な意味も含めて、こういう子が育っているのはいいことだなと感じましたので、紹介させていただきます。

続いて、教育長セミナーが茨城県つくば市で1月23日、24日にあり、参加しました。寒波が西日本を中心に来たときでした。

その中で、パネルディスカッションがありまして、パネラーは、34歳で最年少市長として当選した大阪府箕面市長の倉田さんで、総合教育会議を含めて頑張っているとのことでした。

ほかに、岡山県の教育委員さんの高橋先生という方は、県の教育委員を4期目ということで十数年やっているそうです。

ほかには、岐阜市の教育長の早川さんで、いろいろな部分でよくわかっている方かなと思います。ダブルスタンダードということで、総論のスタンダードと各論のスタンダード、総論と各論の違いも含めて、それからノイズ少数、やかましい方が少数、その声と同時にサイレント多数、サイレントメジャーと言っていました。サイレント、静かな人の声も聞くと、二つの基準が必要ではないかということです。

「ストレスは社会からの期待度」であり、教育長セミナーに参加した多くの教育長に「教育長さん、頑張ってください」とエールを送っておられました。

あと講話で、未来を担う子どもたちのために馳文部科学大臣が馳プランを出していました。馳大臣の講演中には、NHKなどの記者がいますので、記者に「きょうは、あなたは何しに来たんですか」と言って、もごもご言っていると、「そんな発言で教育を語る資格があるんですか」「番組をつくれますか」と言って、文部科学省の事務次官にも「事務次官、きょうの目的は何ですか」と言って、それから、いろいろな方に、「何を一番勉強したいですか」と言ってインタビューをされたりして、なかなか緊張感のある講話でした。

あと二日目の研修会ではテーマごとに分かれて、私は、新学習指導要領への対応についての分科会へ参加しました。助言者は、合田文部科学省教育課程課長でした。この方は、以前の指導要領も今度の新しい指導要領にもかかわり、指導要領をとともよくわかっている方で、PTA会長を6年経験した課長さんで、非常にわかりやすかったです。

教育セミナーについては以上です。

以上、私からの報告事項とさせていただきます。

何か御質問等がありましたら、お願いします。

次に進めさせていただきます。

議案第2号 市議会提出案件（田原市博物館条例の一部を改正する条例）に対する意見について議題といたします。

事務局からの説明をお願いいたします。

関連しますので、議案第3号も一緒によろしいですか。

はい。では、文化学習生涯課長、お願いします。

それでは、議案第2号と議案第3号について、続けて説明をさせていただきますと思います。

こちらの2条例の一部改正でございますが、まず提案理由でございます。

学校教育法等の一部を改正する法律が施行されます。平成28年4月1日が施行日になるわけですけれども、改正の中身は、いわゆる小中一貫教育を行う新たな学校ということで、義務教育学校が設置できるようになります。

それに伴いまして、関係する条例の改正を行うということでござい

文化学習生涯課長
教育長
文化学習生涯課長

ますが、2枚おめくりいただきまして、新旧対照表をごらんください。

まず、田原市博物館条例の新旧対照表でございますが、左側の現行に、ちょっと濃くしたアンダーラインのところに、中等教育学校の前期課程のものを含むということで、これは田原市博物館の観覧料と田原市博物館吉胡貝塚資料館の共通観覧料につきまして、小中学生の観覧料を定める表でございますが、小中学生という規定の中に中等教育学校の前期課程を含むというのが現状でございます。

これを右側にありますように、この小中学校に相当する各学校の区分を入れていくということで、先ほど申しました義務教育学校、従前からあります中等教育学校の前期課程並びに特別支援学校の小学部及び中学部の者を含むと変えていきたいというものでございます。

同じように、議案第3号につきましても、田原市吉胡貝塚史跡公園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例ということで、提案理由、改正内容もいずれも一緒でございます。

以上でございます。

事務局から説明が終わりました。

御質問等ございますか。

御質問もないようでございますので、お諮りいたします。

議案第2号 市議会提出案件（田原市博物館条例の一部を改正する条例）に対する意見について、原案どおり可決することに御異議ございませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

御異議なしとのことですので、第2号議案につきましては、原案どおり可決いたしました。

次に、議案第3号 市議会提出案件（田原市吉胡貝塚史跡公園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例）に対する意見について、原案どおり可決することに御異議ございませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

御異議なしとのことですので、第3号議案につきましても、原案どおり可決いたしました。

次に、議案第4号 市議会提出案件（田原市市民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例）に対する意見について議題いたします。

事務局、説明をお願いいたします。

議案第4号 市議会提出案件（田原市市民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例）に対する意見についてでございます。

まず、提案理由でございますが、田原市と渥美町との合併時に泉市民館石神分館ということで位置づけをしました旧渥美町の石神公民館につきまして、地元の石神自治会に無償譲渡をして、石神自治会で集会所として活用するという調整が整いましたので、今回、市民

教育長

教育長

教育長

文化生涯学習課長

館の分館としての位置づけを廃止するため、条例の改正をお願いするものでございます。

これにつきましては、もともと合併のときに旧1小学校区当たり1市民館という配置の方針の中で合併調整をしてきたわけなのですが、この石神市民館につきましては、国と県の補助金を使って建設しておりまして、平成17年の当時の状況で言いますと、公民館を廃止すると補助金の返還が発生するというので、合併当時につきましては分館扱いでそのまま残したというものでございますが、その後いろいろな規制緩和ですとかそういったこともありまして、現在は、国県の補助をもらったものも10年以上経過したものについては補助金の返還なしに一定の条件のもとで廃止ができることになりましたので、地元との調整の結果、今回、分館を公民館から外すというものでございます。

条例の内容ですが、2枚おめくりいただきまして、新旧対照表をごらんいただきたいと思っております。

条例の中では、第2条に設置規定を置いておりまして、その第2項の中に各地区館の位置づけがされております。

第2条第2項第22号の泉市民館石神分館という号を削りまして、その次にあります第23号を第22号とする改正を行うものでございます。

説明については、以上です。

説明が終わりました。

御質問等がございますか。

閣議決定で、合併市町村がたくさんある中で、施設の転用や譲渡が以前と比べて規制緩和がされ、10年以上たつて、その効用を果たしたものについては補助金返還を要しないという扱いになっていますので、以前と思えば、多少やりやすくなったかなと思っております。

建物の譲渡はするけど、土地も譲渡するのですか。

土地は借地でございます。

御質問等も終わりましたので、お諮りいたします。

議案第4号 市議会提出案件（田原市市民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例）に対する意見について、原案どおり可決することに御異議ございませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

御異議なしとのことですので、第4号議案につきまして、原案どおり可決いたしました。

続いて、議案第5号 市議会提出案件（財産の無償譲渡）に対する意見について議題といたします。

事務局の説明をお願いいたします。

それでは、議案第5号の説明をさせていただきます。

議案第5号につきましても、先ほどご説明させていただきました泉市民館の石神分館についてでございます。

教育長

文化生涯学習課長

金原委員

文化生涯学習課長

教育長

教育長

事務局

こちらについて、地元自治会に対して無償譲渡をするということで、台帳上の簿価はまだゼロではありませんので、無償譲渡するというところで、自治法の規定に基づき、議会の議決をお願いするというものでございます。

内容でございますが、1枚めくっていただきまして、まず譲渡する財産の名称は泉市民館石神分館でございます。

所在地は、田原市石神町西中瀬古25番地3。

譲渡する財産といたしましては、この分館の建物でございます。

延べ床面積が354.58平方メートル。

無償譲渡の相手先につきましては、石神自治会で会長、埴原正男さんでございます。

以上でございます。

教育長

議案第5号につきまして、御質問がありますか。

御質問もないようですので、議案第5号 市議会提出案件（財産の無償譲渡）に対する意見について原案どおり可決することに御異議ございませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

教育長

御異議なしとのことですので、議案第5号につきましては原案どおり可決いたしました。

続いて、議案第6号 平成27年度一般会計教育費補正予算について議題といたします。

事務局、説明をお願いいたします。

教育総務課長

3月定例議会に提出します教育費の補正予算について、担当から順次御説明をさせていただきますので、よろしくをお願いいたします。

教育総務課関係でございます。1枚おめくりいただきまして、歳出予算内示書の順番に説明させていただきたいと思っております。

まず、野田小学校整備事業で、2,400万円の減額補正でございます。

これは、今年度設計、来年度建築予定の体育館の設計業務、地質調査、ボーリング調査等でございますが、その入札残が発生しましたので、その項を減額するものでございます。

当初予算4,088万1,000円ございましたが、安く入札が執行されましたので、残の2,400万円分を補正して減額するというものでございます。

1枚おめくりいただきまして、2点目、伊良湖岬小学校整備事業で、新設の伊良湖岬小学校の建設用地（現在の伊良湖岬中学校）でございますが、その辺一帯の用地測量、新たに買い増ししたいと思っております北側の用地にあります温室の物件の調査等を今年度実施いたしております。それにつきまして入札残が発生いたしましたので、300万円の補正を行うものでございます。

次に、3点目、中学校管理運営事業でございます。

特に中学校の工事関係、営繕工事等の中で執行しなかったもの、及び入札による残が発生いたしましたので、当初2億2,600万円余りから3,100万円を減額するものでございます。

主なものといたしましては、野田中学校の武道場のつり天井の非構造部材の耐震改修工事が当初予定されておりましたが、野田中学校がこの3月末で閉校になりますので、工事を中止したものと、ほかにもいろいろな工事の残が少しずつ出てまいりますので、3,100万円減額するものでございます。

4点目、給食センター給食物資購入事業でございます。

給食費として集めまして、物資の購入事業として業者等に支払いするものでございますが、当初は各学校それぞれ年間予定日数掛ける児童生徒数等で計算しておりましたが、実際、いろいろな行事に伴って給食をカットしたり、土日に学校行事をやって月曜日を休校にするといったことで食数等の減が発生いたしましたので、保育園、幼稚園、小学校、中学校も含め、トータルで1,000万円の減額を行うものでございます。

続きまして、歳入の補正分でございます。

国庫支出金の教育費国庫補助金の小学校教育費補助金のうち、へき地児童生徒援助費等補助金ということで、伊良湖岬小学校のスクールバスによる通学支援につきまして、本来国が補助するわけでございますけど、需要が非常に多かったということで予算の範疇でという前提で、かなり補助金が減額されておりますので、1,170万6,000円を減額補正するものでございます。

2点目は、学校施設環境改善交付金。先ほど申し上げました野田中学校の非構造部材の耐震化、これが3分の1補助が入っていましたが、それを執行しないということになりましたので、その分等を含めまして、トータルで606万8,000円の歳入の減額を行うものです。

裏面、諸収入の中で給食費徴収金。先ほど申しました給食物資の購入事業の1,000万円に対応するものでございまして、保育園、幼稚園、小学校、中学校、それぞれ実績に応じて減額をいたしまして、トータル1,000万円の歳入の減額補正をするものでございます。

教育総務課については以上でございます。

文化生涯学習課長

続きまして文化生涯学習課についてお願いいたします。

先ほどの教育総務課分に続きまして、まず市民館運営事業でございます。こちらは主に非構造部材の耐震工事等の入札残、執行残につきましてマイナス500万円の減額補正をするものでございます。

続いて1枚おめくりいただきまして、歳入予算内示書ということで、こちらは埋蔵文化財の発掘調査事業等につきまして、当初予算を組みました以上に国庫補助金が入ってくるということで、77万円の国庫補助金の増額補正をするものでございます。

1枚めくっていただきまして、繰越明許費の補正ということで、埋蔵文化財発掘調査事業費補助金で、主に保美貝塚の発掘調査をしているわけですが、発掘調査後半段階で新しい発掘、それから関連資料等が出てきたので、それに関する報告、執筆活動の人の調整、執筆に時間を要するため、年度内の執行が見込めなくなりましたので、印刷製本費130万8,000円と執筆謝礼6万円の計136万8,000円を繰越明許費として補正するものでございます。

スポーツ課長

続きましてスポーツ課です。

まず、田原文化広場運営事業において、当初予算の電気料について、契約業者が変わったことで、電気料も契約先によって安く買えることになって、年間900万円の減額と、立体駐車場の木造の柵が相当老朽化していて、今年度改修予定でしたが、その工法について査定場で話題になり、今回はもう一度見直す方向で新年度にもう一度計上しています。そういう関係で、平成27年度中は工事を執行できないので1,000万円減額ということで、合わせて1,900万円の減額をしております。

続きまして、滝頭公園スポーツ施設運営事業の中で、野球場スコアボードシステム整備工事を予定しております、これについても入札残及び今後の変更予定を含めまして、今回1,700万円減額を予定しています。

教育長

事務局からの説明が終わりました。

入札の残、執行残、減額等幾つかありましたが、御質問等いかがでしょうか。

御質問もないようですので、お諮りいたします。

議案第6号 平成27年度の一般会計教育費補正予算について、原案どおり可決することに御異議ございませんか。

(「異議なし」と言う者あり)

教育長

御異議なしということで、議案第6号につきましては原案どおり可決いたしました。

引き続き、議案第7号 平成28年度一般会計教育費予算についてを議題といたします。

事務局の説明をお願いいたします。

教育部長

最初に私から説明させていただきます、各課長から説明します。

まず、1枚めくっていただきますと、予算要求調書集計表というのがあります。今年度予算額、右から2列目のところが今回の教育費としての予算でございます。

それでは1枚めくってください。

当初予算要求教育費の方針ということで、総括としては、渥美半島の豊かな自然と脈々と受け継がれてきた歴史と文化、地域の人材などについての認識を高め、ふるさとへの愛着や誇りを持って地域を支える市民の育成や子どもたちの育成に努めるというようなことで、基本

教育総務課長

方針を定めております。

主な取り組みについては（１）から（７）まで、ごらんのとおりでございます。

それでは、各課長から、次のページの重点事業について説明しますので、よろしく申し上げます。

順次、御説明させていただきます。

まず教育総務課でございます。

まず、第１点目、野田小学校整備事業及び伊良湖岬小学校整備事業で、事業費として３億６,０００万円ほど計上しております。

主なものは、野田小学校屋内体育館の建設です。今年度設計が大詰めになっておりますが、野田小学校の校舎横に空き地がありますので、そこに新しく体育館を建てます。現在の体育館は県道を挟んで校内の歩道橋で行き来しておりますけれども、その不便と危険性を回避する。今の体育館も築５０年近くになり、老朽化対策もございまして、新設するものでございます。建物自体の事業費といたしましては３億５,０００万円ぐらいと思っております。

新体育館の建設に伴い、古い体育館を解体するための設計業務等がございます。

また伊良湖岬小学校の基本設計に取りかかっており、これが８月ぐらいまでかかります。その後、実施設計に移行するので、その経費が計上してございます。

２点目、小中学校管理運営事業でございます。

小学校、中学校の学校の経営に対する光熱費を含む維持管理費です。主な内容は、施設の修繕、特に大きなものは福江小学校のトイレの洋式化工事です。そのほか、スクールバス運行業務では童浦小学校と伊良湖岬小学校にスクールバスを運行する経費でございます。

野田地区通学支援対策として、平成２８年４月から野田地区の中学生が公共交通機関で田原中学校へ通うこととなりますので、通学支援策として路線バスと野田地区のぐるりんバスの定期券を利用者全員に配付する経費を計上してございます。

教育総務課の大きな事業といたしましては、以上でございます。

続きまして学校教育課から申し上げます。

学校教育推進事業の事業費が平成２７年度に比べて若干減少しております。

事業内容の「学びのみかた」非常勤講師の配置であります。小中学校における学習指導を充実し、学力向上のため、若干人をふやしております。

見直し内容でございますが、子どもたちにとって野外での宿泊体験活動を重視したいので、２７年度までは小規模校へ限定した宿泊体験の補助金を出していたのですが、１校当たりの金額を減らして、全部の

学校教育課長

学校に宿泊体験事業についての補助する形に変更いたしました。

次の、国際理解教育推進事業であります。こちらは見直し内容の平成32年度から小学校での英語活動の教科化を見越しまして小学校における教師の指導を支援する体制をつくり、小学校英語教育研究モデル事業を実施します。

具体的には、研究モデル校を指定しまして、小学校の英語教育の在り方について研究を重ねて、ほかの学校にも広げていく。AETなどの研修の機会などもふやし、どの学校でも同じようなレベルで小学校の英語教育を推進できる体制を整える、その準備をしていく事業でございます。

次の共有推進事業では、スクールソーシャルワーカーを1名配置するものです。1名ですので、たくさんの学校に行くということとはできませんが、家庭等に問題があり、学校だけではなかなか解決できない課題を抱えている子どもたちにもかかわっていき、子どもの健全な成長を助けるような、多方面の機関と連携をとる働きをするスクールソーシャルワーカーを配置する予定であります。

それから、教育活動支援員を増員します。教員免許を持っていない方も入っているわけですが、ちょっと落ち着かない子どもがいたり、大勢でなかなか目が行き届かないところへ教育支援員を今何名か配置しているのですが、これも先ほどの学びのみかたとあわせて、やはり人の配置を学校現場では非常に多く望んでいるので少し増員します。

それから、中学校におけるキャリア教育を充実し、しっかりと地域社会に貢献する人材を育成するためにキャリア教育推進事業を設置しました。今まで職場体験推進事業という別の事業があったのですが、それを廃止して、キャリア教育という形で幅広く使えるように予算化しました。

それから、ふるさと教育推進事業交付金、学校・地域「創」プロジェクトという学校から地域へ発信して子どもたちの教育を広げていくという事業がありましたが、学校・地域「創」プロジェクト事業へふるさと学習事業を一本化する形で整理させていただきました。

それから、最後の中学校教材購入事業ですが、中学校の教科書が改訂されましたので、それにあわせて教師用教科書、指導書等を来年度購入する計画をしております。

学校教育課は以上です。

文化生涯学習課長

続きまして文化生涯学習課関係でお願いいたします。

まず、児童クラブ運営事業と放課後子ども教室運営事業でございますが、それぞれ6,212万4,000円と3,196万3,000円で昨年度に比べ増額予算となっております。

これらの事業につきましては、さきの教育委員会で御説明させていただきましたとおり、制度改正を少しさせていただきまして、主に料

金改訂と減免制度の見直しをさせていただいて運営をしていく予定で
ございます。

また、子ども教室につきましては、事前で人数調査を行ったところ、
現在は亀山校区については児童クラブも子ども教室も開設されていな
いという状況なのですが、ニーズ調査の中で利用がありそうだと
いうことで、亀山校区の教室開設に向けて今準備をしているところ
でございます。

亀山校区が開設されますと、市内18小学校区すべてに子ども教室、
もしくは児童クラブが開設される状況になる予定でございます。

続きまして、市民館運営事業ですが、主な事業内容としましては、
市民館の多目的ホール等の非構造部材の耐震化が大きな事業として
ございます。

平成28年度につきましては、衣笠、高松、赤羽根、福江の4市民館
の多目的ホールの耐震改修を進める予定でございます。

本年度、既に4市民館の改修工事を実施終了、もしくは実施中
でございますので、来年度この4市民館の改修工事をを行いますと、
市内で対象となるホールを持つ市民館の耐震改修はすべて終了する
予定でございます。

続きまして、博物館運営事業ですが、平成28年度の博物館の事業
といたしましては、画家の道家珍彦先生、それから漫画家の川崎のぼ
る先生、それから書道家の鈴木翠軒先生、洋画のポール・デルヴォ
ー版画展の四つを予定してございます。

また、渥美企画としまして貝塚関連の展示と、それから雛祭り展を
予定してございます。

それから、次の市史編さん事業の関係ですが、懸案でありました昭
和の合併から平成の合併までの田原、赤羽根史の現在編を発刊でき
る見込みでございます。

田原藩日記の第12巻につきましても、本としての発刊はしませんが、
報告データとしてまとめたものを公開していく予定でございます。

文化生涯学習課関係については、以上です。

では、図書館について御説明させていただきます。

事業内容としましては、図書館運営事業、図書館資料収集事業で
ございます。

見直し内容は、読書と図書館利用に関するアンケート調査を平成28
年から実施する予定で考えております。

図書館資料収集事業としましては、豊橋市図書館との共催によるパ
ネル展を開催予定です。

図書館運営事業で、今年度まで光熱水費を文化会館事業で一括して
払っていたものを、平成28年度からはそれぞれの施設で払う形にな
りましたので、金額がふえております。

スポーツ課長

以上です。

次に、スポーツ課から報告いたします。

スポーツ振興事業では、サーフィンの街調査委託業務として、日本有数のサーフィンの適地としてのポテンシャルを活かし、サーファーの街をつくるため、田原市の魅力、交流、滞在の条件や住むための条件などのサーファーの意向調査をする予定です。

次に、スポーツ大会支援事業について、ここでは中部北陸実業団駅伝大会支援、トライアスロン大会支援、サーフィン大会支援、渥美半島駅伝支援が予定されています。サーフィン大会につきましては、平成28年度は国内アマチュア団体で一番大きな大会であるNSA日本サーフィン連盟の全日本選手権が8月に予定されていますので、支援額がふえております。

渥美半島駅伝支援事業では、平成27年度は会議費程度の費用でしたが、平成29年度開催に向けて、東三河陸上競技連盟を中心に豊橋と田原で調整してコース設定を進めていくため、平成28年度は警察協議を中心とした準備をし、秋には平成29年12月に大会を予定しますということの関係団体に御案内できる仕掛けをしていきたいと考えています。これは田原市だけではなく、東三河陸上競技連盟も含めて全体で進めている事業として負担金を支出しますので、金額がふえています。

以上です。よろしくお願ひします。

教育長

事務局の説明が終わりました。

御質問等がございますか。

横田委員

旧成章高校赤羽根分校施設を壊す予算が出ていたと思うのですが、オリンピック関係で施設を残すような措置はできますか。

文化生涯学習課長

建物自体は耐震上、使えるレベルではないです。

ただ、取り壊しの予算につきましては、今回メイン事業ではないということ取り上げていないですけれども、実際には査定段階で、先ほどの総合会議でもありましたけれども、全体の予算繰りがなかなか苦しいということで、取り壊しについては延期し、建物を残すことになっていますので、来年度の取り壊しはありません。

横田委員

旧成章高校赤羽根分校施設を活用できるとよかったです。

文化生涯学習課長

実は、分校の校舎は、もともと県が耐震診断をした中で、改修が必要とされたものを改修せずにそのまま払い下げを受けていますので、もし活用する場合には耐震改修が必要になります。

教育部長

あわせて、伊良湖岬小学校の解体も前回では載せてあったのですが、地元からもう少し使い道を考えさせてほしいとのことから、1年解体時期をずらして、予算には上げてありません。

金原委員

滝頭公園のスコアボード整備工事は、予算額6,900万円で、入札結果が4,800万円。差額が大き過ぎて、当初の見積りの金額が間違いでは

スポーツ課長

ないですか。

LEDが安くなったというのもあるし、電光掲示板の業者間の競争が激しく、システムの仕様も変わって、バージョンアップした上で、予算は下がっています。

教育長

委員のおっしゃることは、ごもっともだと思うのですが、適正にいくつかの会社から事前に見積もりは取ったのですが、それよりもまたさらに競争激化しているのが現状です。

そのほかよろしいですか。

では、御質問等も終わりましたので、お諮りしたいと思います。

議案第7号 平成28年度一般会計教育費予算について、原案どおり可決することに御異議ございますか。

(「異議なし」と言う者あり)

教育長

御異議なしとのことですので、議案第7号につきましては、原案どおり可決いたしました。

次に、報告事項に入りたいと思います。

初めに、教育委員連絡報告事項について、委員の方々から報告をお受けしたいと思います。横田委員、お願いします。

横田委員

1月30日、小学校音楽会の午後の部に参加させていただきました。

時間に余裕があれば、せっかく集まっているので、成章高校のブラスバンド部の演奏を聴かせたいと思いました。赤羽根中学校のブラスバンド部の演奏もいいんですけど、短すぎるので、一つ飛び越えて、楽しそうにやっている成章高校の演奏を聴くと、中学校へ行って吹奏学部に入りたいという子がふえてくるのかなと思いました。

成章高校が演奏してくれると子どもたちは喜ぶのかなと思いました。

それから、2月4日、委員長・教育長会議と東三河教育委員研修会に参加させていただきました。

以上です。

教育長

金原委員、お願いします。

金原委員

私は、1月22日、初めて若戸小学校のゆりのく祭りに参加させていただきました。これは、子どもたちの研究発表の場としてとらえることができました。

1月30日の小学校音楽会に参加しました。以前は学校別に講師の方が講評をしていましたけれど、今ではまとめてやっていますので、できれば学校別にいいところを紹介していただけたらと思っています。

2月4日、東三河教育委員研修会に参加しました。4年目なので、だいぶ知り合いもふえて、楽しい時間を過ごさせていただきました。

以上です。

教育長

山本委員、お願いします。

山本委員

1月30日の音楽会には、私は午後行きました。

ことし初めて、ソロ演奏をする試みがありました。

ソロ演奏をする子たちは、緊張すると思いますが、おもしろい試みだったと思います。

2月4日の東三河教育委員研修会は欠席させていただきました。

2月10日、田原市保健対策推進協議会に参加しました。教育委員の中で一人出席しました。ことしは年1回の会議でした。本日の総合教育会議で市長が言われたように、大きな柱としては、田原市の保健事業の話、地域医療の無医村の問題、あと大きいのは渥美病院の小児科の問題と産婦人科の問題で、渥美病院の院長から状況の説明などもありました。

ほかに、泉校区健康を考える会という市民ワークショップを校区モデルとしてやるそうです。健康について市民が集まっているいろいろな体験をするとのことでした。

それから、もう一つおもしろかったのは、田原市の保健事業の説明の中で、田原弁のラジオ体操を健康まつりで披露したとのことでした。普及啓発のためには、CDの配付をしたらどうかと思いました。豊橋市ですと、豊橋弁、三河弁ラジオ体操がユーチューブに載っていますので、ぜひだれでも見られるようにしてほしいです。

ほかに、たはら健康マイレージについて説明がありました。健康づくりのためにウォーキングなどの目標設定をし、各種検診の受診、健康関連イベントや講座に参加するとポイントがたまるというものでした。平成28年1月現在の参加人数が118人で寂しいなと思いました。

話は変わりますが、2月11日、椰子の実コンサートに行き、その時に渥美郷土資料館のお雛さまを見ました。その時に、福江・清田の見どころマップがあり、生徒達のオススメポイントにすぐ行って来ました。

たはら健康マイレージですと、レポート用紙を書いて、ポイントをとためて、それでウォーキングに参加してスタンプをもらうのは、すごくいろいろ厳しいので、参加者が100人ちょっとでは寂しいなと思ったけど、この見どころマップは、おもしろいなと思いました。きのうの新聞にも出ていました。

椰子の実コンサートもすごく楽しかったです。

名古屋フィルハーモニー交響楽団の演奏を田原で聴けるなんて、本当にすばらしかったです。

満席にしたいという思いで頑張って働きかけたんですけど、子どもたちが学年末テストのテスト週間だったので、中学生もコンサートを聴けるとよかったです。

ありがとうございました。

土井委員、お願いいたします。

1月30日、小学校の音楽会に参加しました。小規模の学校は、部活

教育長

土井委員

も運動部と音楽部を両方やらなければいけないので、練習期間が短いと聞いていたのですが、実際に演技を見させていただいて、できていない感じは見受けられなかったし、一生懸命頑張っていたので、私はすごくすばらしかったなと思いました。

以上です。

学校教育課長 先ほどの横田委員の小学校音楽会についてですが、審査員から小学校別の講評をもらっています。

教育長 全体の中ではおっしゃらなかったですけど、それぞれにきちんとコメントを書いてそれぞれに渡しております。

審査員の先生もよく考えていただいているかなというふうで、年々こういうふうに変わっていますということはこの間私も教えていただきましたし、土井委員が言われたように、小さい学校もそれなりのよさを出していますので、金管でなければとかいろいろあるんですけど、それぞれの学校の持っているものを、器楽演奏にも伝えられるし、器楽でも結構レベル高いなという、曲もレベル高いものをやっていたんですけど、そういう点では小規模だからちょっと見劣るなということはないかなと感じます。

続きまして、教育長教育方針（案）について御意見をお願いいたします。

横田委員 例えば、学校教育の2行目、第1に学習環境と書いてあるけど、教育環境のほうがいいのではないかと思います。学習だと縛られてしまいます。

教育部長 教育環境の充実の中に、学校再編と施設計画の両方を入れたつもりでこのようにしています。

教育長 横田委員の資料をいただいて、また市議会のときに私が読み上げる形になると思います。

2月29日の初日に登壇します。さらなる検討を重ねてまいりたいと思います。

また委員の皆さんにも御意見等がありましたら、部長へ連絡していただければと思います。

では、次に、田原市総合教育大綱についての報告をお願いします。

教育部長 総合教育大綱と学校再編につきましては、先ほどの総合教育会議の中で話し合いをしておりますので、今回は省略いたします。

教育長 本日の夜、伊良湖岬中学校統合検討委員会があります。

では続いて、その他に入りたいと思います。

事務局からお願いいたします。

スポーツ課長 スポーツ課から1月24日の第21回全国都道府県対抗男子駅伝競争大会について報告します。先回の教育委員会では女子の全国都道府県対抗駅伝競走大会で愛知県が優勝した旨を報告しましたがけれども、その次の週に都道府県対抗男子駅伝競争大会がありました。トヨタ自動車

の駅伝部の監督であります佐藤監督が愛知県の監督を務めておられまして、選手も3区を走った田中秀之、それから7区を走った山本修平はトヨタ自動車の選手で、3区の田中秀之選手については、区間賞も取っております。

1枚目の裏のほうを見ると、25位の山口県の藤本拓選手、36位の福井県の早川翼選手もトヨタ自動車の長距離選手で、各出身地の都道府県代表として走っています。

特に愛知県が男女とも優勝できたという嬉しい情報を報告いたしました。以上です。

教育部長

次に、田原市組織機構図案について、報告いたします。この4月から市全体が課係制に戻りますので、これは現段階での案です。

3月31日の教育委員会の臨時会で改めて機構改編として出させていただきます予定です。

以上です。

教育長

組織体制について、変更があるということで御理解いただきたいと思っております。

続いて、教育委員会表彰についてお願いします。

教育総務課長

年度末に昨年まで社会教育表彰としてやっておりましたが、昨年度、規則改正をいたしまして、教育委員会表彰ということで、子どもたちにも機会を与えて、全体的に教育委員会として表彰するため、現在、各団体を通じて推薦依頼をしております。

表彰式につきましては、3月31日に行いますが、それに先立ちまして、3月11日の午後の教育委員会前に午後1時から選考委員会を開催したいと思っております。

教育長が会長ということでやっていただきますけれども、それ以外にお一人どなたか御参加をいただきたいと思っております。

教育長

職務代理の横田委員、お願いできますか。

横田委員

はい、承知しました。

教育長

ありがとうございます。

次に、女性活躍推進法についてお願いします。

教育総務課長

国で女性活躍推進法という法律が成立し、ことしの4月1日から施行されます。事業主ごとに女性の活躍状況の把握、課題分析等を行い、今後の行動計画の策定をして公表等を行うものです。

官公庁におきましては、特定団体ということで必須のものです。任命権者ごとに策定する必要があり、本来でしたら教育委員会は教育委員会をつくるという前提なのですが、田原市におきましては、すべて人事課が一括して職員も採用しておりますので、ほかの監査委員、農業委員会なども含めて人事課が主体となり、全体として特定事業主行動計画の策定や公表等を行うものです。現在、人事課で策定中ですので、最終的なものができたら御報告させていただきます。こうした動

教育長

きを御承知おきいただければと思っております。

以上です。

ありがとうございます。

ほかによろしいですか。

特にないようですので、本日の議事等はすべて終了いたしました。

御協力ありがとうございました。

これをもちまして、田原市教育委員会第2回定例会を閉会させていただきます。

閉 会 午後0時00分